

Q 地球温暖化現象の影響を受けて、今年の夏は最高気温が35度を超える猛暑が続いた。そんな中でも子どもたちは学校で勉強に頑張っている。気温の上昇等により、教室の室温が体温を超える中に大勢の生徒がいるため勉強どころではない。



村上 百合子 議員

質問項目

- 1 教育行政について
- 2 朝農跡地利用構想について
- 3 親と子と孫が共に暮らせる朝倉市について

Q 全小中学校の教室に扇風機設置を要望する

A 学校と協議調整して今後の課題としたい

い。熱中症も心配である。

学校教室の空調設備が遅れている。全小中学校の教室に扇風機を設置して児童生徒の健康保全と集中力アップを図ることを要望する。

A 温暖化による教室の温度が、特に夏休み前後が高くなってきている。学校現場と設置効果など整理し協議して今後の課題としていきたい。

Q 学校の施設は地域住民のための応急的な避難所となる役割も担っている。耐震性だけではなく、災害発生時の必要物資の備蓄、避難生活に必要な諸機能を備えることも求められている。学校施設の防災機能に関するニーズが存在することで、文部科学省のほか、国交省や内閣府の制度も活用できることを認識して整備して

朝農跡地の活用で市の活性化を

ほしい。

Q 朝農跡地利用構想については一般譲渡価格で購入され、市民は夢と期待感を持って見ている。策定計画の中で朝倉森林組合やJA筑前あさくら農協の誘導を掲げていたが、進捗状況を知りたい。

A 活用計画を基本にその中に記載されている部分においては、念頭に置きながら朝倉市の宝にするための検討を進めている。



高台にある甘木中学校

Q 山麓果樹園の再編を目指し、耕作放棄地や樹園地としての条件の悪い土地について農業振興地域の除外等、転用は検討できないか。

向けて地域の方々と検討していく。

Q 山田堰やため池については、農業用取水施設としてはもとより、集落等居住地域より上流部に位置する現状を踏まえ、維持管理、危機管理の観点から防災面も視野に入れた施設整備について執行部の考えを尋ねる。



稲富 一實 議員

質問項目

- 1 農業政策について
- 2 下水道事業について

A 県営ため池整備事業や市単独、農業生産基盤整備事業によつて老朽度や危険度を考慮し、地元の管理者の皆様方に協力をいただきながら計画的な整備を行っていく。

Q 市内の農業活性化に向けた六次産業化の推進については、市職員の人員配置や展開する品目、販売計画について朝倉市はどう狙いを定めているのか。

A 六次産業化の推進については、地域を問わず、生産者の努力による加工品が生産、販売されている。現在、県内の太宰府、八女豊前農業試験場などに伺いながら、いいものがないかということを検討している。



山麓果樹園の柿

Q 果樹園再編、山田堰、ため池政策を問う

A 活用手段を検討、管理者と協力、計画的に行う

Q 市外で朝倉市観光PRの情報が少ない

A 既存の殻に閉じこもる情報発信ではないけない

平田 梯子 議員

質問項目

- 1 朝倉市が誇るもの、特徴ある施策について問う
- 2 安心して出歩けるまちづくりについて
- 3 障がいをもつ学童・生徒が安心して入園・入学できる幼稚園・保育所、小中学校、高校にするために



交流人口を増やすため、また農産品等を売るためのPR活動をどのように行っているか

Q 市長は、朝倉市の動く広告塔であると考えている。よそへ行っての挨拶で、どのような点を強調しているか。

A 朝倉市の農産品のすばらしさ、原鶴温泉、秋月、今取り組んでいる百人一首の話などさまざまである。

Q 市の政策について問う。

朝倉市は、福岡市、都市圏からは大分自動車道が走り、インター、高速バス停それぞれ3つある。福岡から日田へ通じる国道386号線が走り、福岡県初の道の駅「原鶴」もあり、交流人口を呼び込むには非常によい条件にある。しかし、朝倉市からの道案内を常に行っているときは市へ、交流人口が流れていくのではないかと不安、恐怖を感じている。

①高速道路の古賀と基山のパーキングエリア、山田サーピスエリア②国道沿いの道の駅「くろめ」「つきは」「JR吉井」「つきは」など、観光客などが情報を求めている。

寄るところに、1枚も朝倉市紹介のチラシがなかった。高速道路には福岡県各地のチラシもほとんどなかった。リサーチして、市と観光協会が統一した観光PR、施策をとってほしい。また広域の首長での取り組みの働きかけをする必要がある。

A 働きかけはやぶさかではない。観光協会などとの関係も事情を聞いた上で行動をとる。



道の駅「原鶴」の機能も十分果たせるよう働きかけを！

Q 朝農跡地活用計画の庁内検討委員会での進捗状況はどうなっているのか。

A 平成21年9月に作られた朝農跡地活用計画が基本である。跡地を有効利用することで宝の山を目指す。今まで8回議論して、平成21年9月に作られた、活用



大庭 きみ子 議員

質問項目

- 1 朝農跡地活用計画について
- 2 障害者福祉政策について

計画の流れでよいかということも議論している。

Q 活用計画が作成されて、2年間が経過している。今までの成果は何なのか。

A 平成22年に県有地を取得した。平成23年4月から具体的な方向性を議論しているので、着実に計画は進んでいると認識している。

Q 森田市長になって、すでに2年が経とうとしてい

る。具体的な跡地活用の考えはないのか。

A 今の時点で私自身が何を作りたいのか、どのような形にするのか個人的にはあったとしても、いま検討委員会での議論の最中である。

Q 方針が来年3月に出されて、具体的な計画を作成していつまでにやり遂げるのか。今後のスケジュールを尋ねる。

A 跡地活用の方向性を示し、議会や市民の意見も聞かせていただくが、いろいろな議論が出てくる。いつまでとはつきり言う時点ではない。

Q 議会や市民の意見を十分に汲み取って、さらに練り上げる考えはあるのか。

A 議会、市民の皆様からも何らかの形で、直接意見を聞くようなものを検討している。

Q 朝農跡地活用計画のスケジュールについて

A いつまでとはつきり言う時点ではない



朝農跡地の早期活用が望まれる

Q 高額療養費の保険給付を請求せず、県と市が損害を被ったことについて、市の対応はいかになされるのか。

A 再発防止に努め、当該職員たちによる自主返納で補てんしていく。

Q まず、この問題が発覚



実藤 輝夫 議員

質問項目
1 行財政改革について

Q 高額療養費未請求問題についての市の対応

A 再発防止に努め、自主返納で補てんしていく

Q 10月の全協まで県との話し合いで加算金まで含め全額市職員の自主返納という報告であった。北海道の小樽市等の場合、道庁より指摘されながら加算金は科されず、福岡県は減免規定にあたらぬとの報告であった。10月の全協での指摘後、11月末に加算金免除ということになったが、一

した時点で議会に報告されず、市長が知って約6カ月後に全員協議会で報告された。その際、市長は陳謝されず指摘に対し、責任を感じているが頭を下げるかどうかではないと強く言われたが、どう考えているのか。

A 確かに当時私は市長の席にいなかったため、管理監督責任はない。ただ市民に対して申し訳ないという気持ちには十分に持っている。



再発防止に向けて

Q 当該市職員たちに責任があることは勿論だが、県の責任が考慮されていない結末では十分な対処ではない。

A 北海道の市を参考にし、十分議論したいと思う。

Q 県に審査ミスがあったのか、なかったのかということを私にここで問われても、私も何とも返事のしようがないし、わからない。

A 買して県の事務上のミスの有無は考慮されていない。市長は8月、県との折衝にあたってはどうか考えているか。

Q 市長の教育委員会に対する見解を伺いたい

A この問題は差し控えさせていただきたい

草場 重正 議員

質問項目
1 教育行政について



Q 橋下大阪府知事は、教育基本条例をつくって、大きな反響を呼んでいる。彼は教育の政治的中立の名のもと、学校現場が政治性を帯びた組合による管理になつていくと指摘している。実際、教育委員会の組織構造は見えづらい。教育委員

長と教育長の権限が二重構造になっている。公教育の最大の問題は、首長・教育委員長・教育長の権限がいまいちな点にある。これを整備し、権限と機能のあり方を見直す時期に来ている。今後は責任を明確にし、教育の地方分権をいかに推進するのか、朝倉市もこれからきめ細やかな論議が望まれているが、市長の見解を伺いたい。

A 大阪府教育行政は、教育委員会の独立性の名目のもと、民意が反映されなかった。しかし、グローバル社会に対応する人材を育てるには、議会が条例を通じ教育に関与し、民意を反映させるための提案理由である。民主党幹部は、教育には中立な立場であり得ないなどと言われた労組出身の方もい

る。国会議員のそういうこともあり、教育に市民の代表である議会の意思を反映させるための教育基本条例と解釈している。私が市長としてこの問題を申し上げるのは、差し控えさせていただきたいと思つている。



品格ある子どもを育てる学校

Q 水源の森（旧畜産団地）整備を早急に
A 整備に着手したい

今福 勝義 議員

- 質問項目
1 水源地域の振興について
2 山森フェスタの開催について
3 下水道事業の見直しについて
4 環境整備事業の継続について



Q 水源の森（旧畜産団地）整備を早急に。
A 整備に着手したい。
Q 水源の森整備、利水者含む関係団体に積極的に協力を呼びかけ早急に整備を進めてもらいたい。
A 協力の依頼を行いますが、ボランティア等の協力

を得て整備に着手したい。

Q 江川ダム、寺内ダム建設時には、水源地の振興策に関する法律がなかったために、整備等が全然行われていないので、小石原川ダム建設に係わらず振興策を進めるのは当然である。

A 江川ダム、寺内ダム建設時に残された整備についても、小石原川ダム建設に係わって、一緒に解決していきたい。

Q 環境整備事業については、地域密着型事業として大変喜ばれており、環境事業整備費の事業継続と増額をお願いしたい。

A コミュニティ事業とも相通じるものがあり、今後取り組みをさせていきたいと思います。

Q 佐田川の水害が今年が多いが、

その原因は。

A 今現在、毎秒0.34トン放流されている。降水量が昨年の2.6倍で、11月は相当な水量が放流されているためである。

Q 渇水期において、佐田川に今年度くらい水が流れるように、関係団体等に強くお願いしていただきたい。



水源林植栽地の下草刈

総務文教常任委員会

埼玉県戸田市
新潟県十日町市
燕市

市民目線での協働の

まちづくりを目指して

平成23年11月7日～9日

〔埼玉県戸田市〕

自治体シンクタンク（戸田市政策研究所）

国の地方分権改革の進展に伴い自治体を取り巻く環境が変化し始めました。自治体は自身の責任と判断で進むべき方向を決定し、自立した都市経営を行うことが必要です。都市間競争の時代であり政策形成力の向上が不可欠です。将来に向けての施策を建設的かつ確実に実行し、都市経営を進めてゆくための取り組みは、

当市でも検討する価値は十分にあると確信しました。

〔新潟県十日町市〕

新しい公共モデル事業

市報とおかまち市民リポーター事業、市報をもつ

と親しみあるものにし、市民目線の市報作りを目指し、

とおかまち市民リポーターから写真・記事を投稿してもらい市報に掲載してまいります。

市政事務嘱託団体設置事業は、高齢化率など一定条件を満たす行政区において、申し出により条件を満たした団体に嘱託員業務を委託する事業です。

〔新潟県燕市〕

まちづくり基本条例の制定に向けた取り組みについて

合併後の新市のまちづくりは市民が主体的に参加し、行政と協働しながら進めていくことが重要と認識し、

まちづくり条例の制定等を進め、市民が積極的に参加できる環境を作りました。

これまでの意見を市民検討会議で集約し、条例案としてまとめ、パブリックコメント等を経て、平成23年4月1日「燕市まちづくり基本条例」を施行しました。

この条例は、白紙の状態から市民が参画し行政と協働で作上げた条例です。

まちづくりにおいて、3市とも違った視点で取り組んであり、当市においても参考になる点が多く感じられました。市民目線を基本とし、協働という共通の認識で取り組んであり、私たち朝倉市議会もこの基本を活動の軸として取り組んでいくべきと痛感しました。



十日町市役所にて

行政視察

を報告します。朝倉市議会では各常任委員会にて一度先進地の視察研修を行っています。

環境民生常任委員会

北海道石狩市 小樽市 苫小牧市

高齢者自らが活動する

「杜のつどい」等を行政視察

平成23年10月26日～28日

【北海道石狩市】

いしかり・ごみへらし隊の取り組みについて

石狩市ではごみ処理量が

右肩上がりに増加し、平成12年度には、家庭ごみ、事業系ごみを合わせ、約2万トンに達しました。その後

平成18年8月に「ごみ減量は市民・事業者・行政の協働で！」という考えで参加メンバーを公募し、平成13年9月に38名の市民・事業者らによる「いしかり・ごみへらし隊」が発足しました。ごみへらし隊の取り組みは、住民・事業者・行政を巻き込む協働の取り組みモデルとしては評価できる取り組みでした。

今後もいかにごみへらしの意識を高めるかが重要だと感じました。

【北海道小樽市】

杜のつどいについて

人口流出と急速な高齢化が進む小樽市の課題として、高齢者自らが活動する仕組みづくりが企画され、平成17年、小樽市産業会館内の空きスペースに、杜のつどいが発足しました。印象的だったのは、「市民後見人活動センター」をいち早く発足させ、講座を会員自ら主宰し、いろんな育成を進めている点でした。朝倉市でも今後の参考にできる取り組みでした。

【北海道苫小牧市】

福祉のまちづくりについて

苫小牧市では、すべての

人々が安心して快適な日常生活を営み、あらゆる分野の活動に参加することができ、地域社会を実現するため、高齢者、障害者等の様々な障壁を取り除き、すべての市民にとって暮らしやすい福祉のまちづくりを目指すという理念のもと、平成14年に福祉のまちづくり条例が制定されました。特色として、基準を設けて、それを満たした建物には、適合証を交付していることや、高齢者、障がい者をはじめと、乳幼児を連れた人、妊産婦など行動上の制限を受ける人など幅広く対象としていることです。



苫小牧市議会にて

建設経済常任委員会

神奈川県秦野市 山梨県 山梨市 埼玉県 秩父市

「バイオマス発電」で

地域活性化を目指して

平成23年10月31日

～11月2日

【神奈川県秦野市】

「農」の担い手育成支援事業について

秦野市と農業委員会と農協の三者が組織の垣根を越えて農業支援に関する機能の一本化（ワンフロア化）を図り、「はだの都市農業支援センター」を設置しています。また、定年帰農者や非農家の農業参画など多様な農業の担い手の育成のため「はだの市民農業塾」を開き、5年間で就農者30名の成果をあげていました。

【山梨県山梨市】

空き家バンク制度について

山梨市は空き家の賃貸や売買を斡旋しています。市

林は荒廃の危機に直面しています。朝倉市と共通する点が多い当市は森林資源の循環システムを構築することにより地域活性化を目指し、バイオマス発電を展開しています。また、森林保全や自然エネルギー普及啓発はもとより、観光資源としても活用しています。地域資源を生かした自然エネルギーの有効性と環境保護の観点から、朝倉市の取り組みの一助となる可能性があります。

が山梨県宅建協会と協定を結ぶことにより、事務の軽減やリスク回避の効果があり、市は情報発信に専念できるようになりました。都心から90分圏内や災害の少ない気候などをアピールし、この5年間で成約52件の実績を残しています。また、一生懸命に取り組む担当職員も印象的でした。

【埼玉県秩父市】

木質系バイオマス（生物資源）事業について

秩父市は地域の約9割が森林であり関東の水がめです。しかし、恵まれた自然環境にありながら地域経済は停滞し、少子化と人口減少が進んでいます。また、木材価格の低迷により、森



秦野市役所にて